

学びのドリームプラン 海田東小学校

第1学年1組 体育科
 単元名：めざせ 미래のオリンピック
 「走・跳の運動遊び」

指導者 中嶋 奈保子

児童の願い

オリンピック選手のように、速く走ったり、高く跳んだり、遠くに跳んだりすることができるようになりたい。



ゴール

「海田東小オリンピック」を行い、走・跳の運動遊びを楽しむ。

本単元で付けたい力

- ・いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすることができる。
 前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすることができる。 **【技能】**
- ・走・跳の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動したり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。 **【態度】**
- ・走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫したり、楽しく運動遊びを行うことができる場を選んだりすることができる。 **【思考・判断】**

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

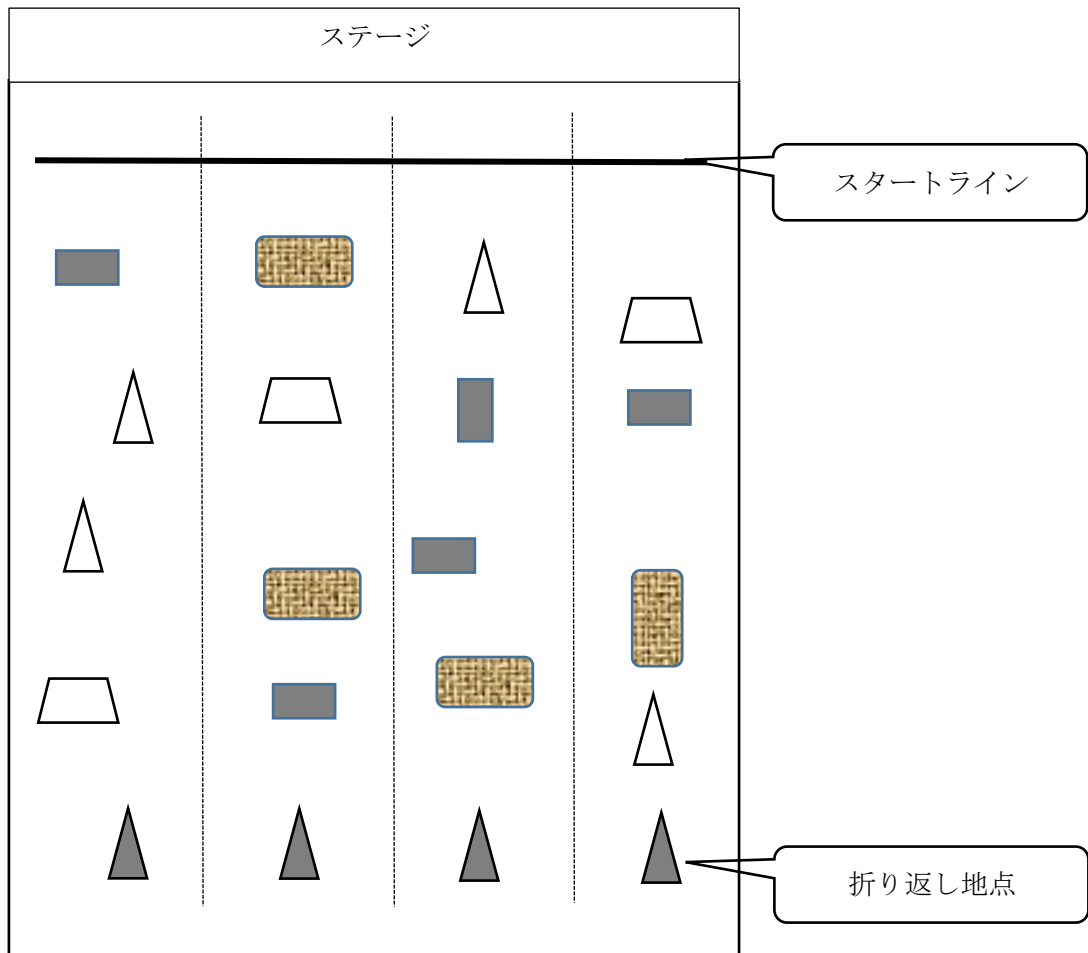
	A	B
【主体性】	・自分から進んで次のレベルに挑戦しながら、走・跳の運動遊びに取り組もうとしている。	・自分から進んで走・跳の運動遊びに取り組もうとしている。
【思考力】	・走ったり跳んだりする遊びを通して、場や遊び方を工夫したり選んだりしている。	・走ったり跳んだりする遊びを通して、場や遊び方を選んでいく。
【自己理解】	・走・跳の運動遊びを通して、調子よく走ったり跳んだりする楽しさを味わいながら、自己の成長に気付き、今後の生活の遊びの中に取り入れようとしている。	・走・跳の運動遊びを通して、調子よく走ったり跳んだりする楽しさを味わい、今後の生活の遊びの中に取り入れようとしている。

「課題発見・解決学習」の過程 (全10時間)

学 習 活 動	育成したい資質・能力
課題の設定 (1) ○オリンピック陸上競技選手の記録を知り、走・跳の運動遊びに興味・関心をもつ。 ・織田幹雄の三段跳びの記録 (15m21cm) が何歩で跳べるか、ウサイン・ボルトの100m走の記録 (9秒58) の間に何メートル走ることができるかを体験する。 ・いろいろな走・跳の運動遊びに関心を持ち、「海田東小オリンピック」に向けて意欲をもつ。	主体性
情報の収集 整理・分析 (4) ○くねくね走やぐるぐる走、折り返しリレー遊びをする。 ・場の工夫をして、いろいろな走り方で走る。 ・曲がったり回ったりするときの体の動かし方や走り方について考え、選んで行っている。	思考力
○低い障害物を使った遊びをする。 ・障害物の走り越し方や障害物の間隔について考え、工夫している。 ・低い障害物を用いたりリレー遊びをする。	思考力


学 習 活 動	育成したい 資質・能力
○いろいろな障害物リレー遊びをする。 ・グループで障害物リレーコースを作り，リレー遊びをする。 ・それぞれの障害物リレーコースを走り，気付いたことを表現したり，体の動かし方や走り方について考えたりする。	思考力
○いろいろな障害物リレー遊びをする。 ・前時の学習を生かし，他のチームの友達が楽しめる障害物リレーコースを作る。 ・それぞれの障害物リレーコースを走り，速く走るための体の動かし方や走り方を工夫する。 【本時】	思考力
情報の収集 整理・分析（３） ○ケンパー跳び遊びをする。 ・片足や両足で連続して跳ぶ遊びをする。 ・輪の置き方を工夫する。	思考力
○幅跳び遊びやゴム跳び遊びをする。 ・片足や両足で前向きや横向き，連続跳びをする。 ・２本のラインの幅を変えたり，ゴムの高さや置き方を工夫したりする。	思考力
○いろいろな跳の運動遊びをする。 ・跳の運動遊びの行い方を知る。 ・遠くに跳んだり高く跳んだりするための体の動かし方を試したり工夫したりする。	思考力
まとめ・創造・表現・振り返り（２） ○これまでの学習内容を組み合わせたコースで，「海田東小オリンピック」をする。 ・これまでに学習した走り方や体の動かし方を想起し，走・跳の運動遊びを楽しむ。 ○学習を振り返り，自分や友達の成長を発表する。 ・学習カードをもとに，自分の成長や友達の頑張りを発表する。 ・自己の成長を記録した金メダルをもらう。 学びのモニタリング ○自らの学びについて振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で学習カードを基に自らの学びを振り返る。	主体性 自己理解


【場の設定】




【障害物】

- ・各チーム2つずつ。
- ・4つ選び、自由に配置する。

 ダンボール箱

 コーン

 ミニハードル

 シート